

平成29年8月20日
今週のベストショット



青松園B 三苦ホーネッツ 対 三苦フレンズ

三回表、振り逃げの間に本塁突入！間一髪セーフで先取点を挙げる三苦ホーネッツ矢野義幸選手。

写真：奈多サンデーズ 田中 俊宏

青松園B 手に汗握る好ゲーム！

三苦ホーネッツ（8勝1敗）	001002	3	川原○-広木
三苦フレンズ（8勝1敗）	000000	0	山口●-佐藤（由）

2BH：矢野（雅）（三苦ホ）

好投手同士の投げ合いは、二回表ホーネッツの攻撃は連続三振であっさりと二死の後、七番今田選手が四球を選び続く八番川原選手が放った打球は、ライトへの飛球でアウトと思いきやフレンズ右翼手が後逸し二死二三塁とチャンスを広げるが、続く九番三浦選手は三振に打ち取られこの回終了。その裏フレンズの攻撃も一死から四番佐藤（由）選手・六番山口選手の安打、七番佐藤（博）選手の四球により満塁としたが八番生野（猛）選手は遊撃手への飛球で二死、九番岩井選手は三振でチャンスを潰す。試合が動いたのは三回表、ホーネッツは内野安打で出塁した一番矢野選手を送りバントなどで三塁に置き、続く三番稲葉選手の打席、三振振り逃げでフレンズ佐藤（由）捕手が一塁へ送球した隙を突き三塁ランナー矢野選手が本塁へ突入、間一髪でセーフとなり1点を先制する。次の1点の入り具合で試合がどうなるかわからない展開だが四回・五回と両チーム無得点、次の1点は六回表ホーネッツに入った。一死から五番矢野（雅）選手の二塁打で出塁後、七番今田選手が二死より遊撃手ゴロの送球を一塁手が捕逸で1点追加、さらに八番川原選手が右翼前安打で3点目が入り試合を決める。六回裏のフレンズの攻撃も四番佐藤（由）が安打で出塁するも続く打者が打ち取られ時間切れゲームセット。ホーネッツの完封勝利となった。お互いに安打4本と互角だっただけに守備のミスが勝敗を分ける事となった。

（記事・写真：奈多サンデーズ 田中 俊弘）



全勝フレンズを完封した三苦ホーネッツ川原投手。



惜しくも敗戦投手となった三苦フレンズ山口投手。



戦況を見守るホーネッツベンチ。



戦況を見守るフレンズベンチ。



二回裏、ライト前安打の佐藤選手。



二回表、一步届かずフレンズ生野猛右翼手。



捕球したか？・・・しかしこの後落球。



打球をさばくフレンズ佐藤博将三塁手。



三回表、本塁突入！ホーネッツ矢野選手。



四回裏、スライディングキャッチの堺恭祐遊撃手。



六回表、矢野雅隆選手に三塁線を抜かれる二塁打を許す。



ピンチを迎えマウンドに集まるフレンズナイン。



六回裏、フレンズ六番山口選手一塁フライに打ち取る。



ホーネッツ稲葉選手（左）と川原選手（右）。

奈多グラウンド 三友クラブ、好投リレー！

ブルーマーリンズ（9敗） 1 0 0 0 1 2 佐藤●ー井上（広）

三友クラブ（4勝4敗1分） 2 1 2 3 × 8 平田○、足達ー谷崎、柿崎

2BH：児玉（ブルー）山崎2（三友ク） 盗塁：児玉（ブルー）松尾（三友ク）

一回表、ブルーマーリンズは先頭の一番児玉選手が四球で出塁すると盗塁を成功させ、相手投手の暴投で無死三塁とする。ここで二番井上（紘）選手の遊撃手の頭を越す適時打で1点を先取する。幸先よく先制したかに思

われたが直後の一回裏、三友クラブ二番平田選手の内野安打で出塁を許すとその後一死一三塁となり四番山崎選手の右中間を破る適時二塁打と続く五番松尾選手の右前安打で逆転を許してしまう。その後も三友クラブはコンスタントに得点を重ね7点のリードで五回表を迎える。四回まで2安打1失点と好投の平田投手に代わり、エース足達投手が登板。二死までは奪うもののブルーマーリンズ一番児玉選手の二塁打、代打矢野選手の内野安打、三番佐藤選手には四球を与えてしまうと二死ながら満塁とされる。ここで四番桑野選手に死球を与えてしまい、押し出しで1点を返されてしまう。なおも二死満塁。一打が出れば大量失点に繋がる窮地ではあったが続く五番系井選手を二飛に打ち取り、試合終了。投打のかみ合った三友クラブが勝利を手にした。

(記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭)



試合開始の握手。



三友クラブ先発の平田投手。



一回表、盗塁を決めるブルーマーリンズ児玉選手。



一回表、先制点となる二番井上（紘）選手の適時打。



ブルーマーリンズ先発の佐藤投手。



一回裏、同点の走者となる三友クラブ二番平田選手のホームベースに打球を当てる技あり内野安打。



二回表、バント処理をするブルーマーリンズ末松三塁手。



四回裏、駄目押しのホームイン。



五回表、セカンドフライで試合終了。

青松園A 8奪三振！4本塁打！の勝利チームは・・・

奈多クラブ (10勝) 0 1 1 0 6 0 8 今林(瑠) ○—安河内

三苦三球会 (4勝5敗) 0 0 0 0 0 0 0 吉留●—藤澤、山崎

HR: 住田2、今林(祐)、今林(瑠) (奈多ク) 2 BH: 嶽崎 (三球会)

初回はお互い無得点で迎え、二回表奈多クラブは二死から七番住田選手の左中間へソロHRが飛び出し均衡を破ると、続く三回表には二死満塁で五番馬場口選手の打球が三遊間抜け、三塁ランナーが帰ると続の二塁ランナー今林賢人選手も帰ろうとするも、ホーム手前ですっ転びタッチアウトで更なる追加点のチャンスを逃す。しかし、五回表の奈多クラブは、ここで一気に突き放す。先頭打者一番今林祐将選手のライトへ打った瞬間それと分かるソロHRを皮切りに、三番今林瑠生選手の左越え2ラン、そして七番住田選手がこの日2本目となる3ランを放つ。奈多クラブは、打っては4HRで8得点、投げてはエース今林瑠生選手が8奪三振と安定した強さを見せつけ、10連勝した試合だった。(記事: レッドサンデーズ 前田 篤史、写真: 古賀 開)



完封勝ちした奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



三球会先発の吉留投手。



一回裏、初ヒットを放つ三球会藤澤選手。



三回表、本塁直前転んでアウトになった今林賢人選手。



五回表、ライナーでHRを放つ奈多クラブ今林祐将選手。



五回表、左越えHRを放った奈多クラブ今林瑠生選手。



五回表、痛烈なヒットを放つ奈多クラブ安河内選手。



二回に続き2本目のHRを放った奈多クラブ住田選手。



五回裏に技ありのヒットを放つ三球会上村選手。



六回裏に意地の二塁打を放つ三球会嶽崎選手。



六回裏、気迫の出塁を見せる三球会半田選手。

第17週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第17週、8月20日は3試合が行われました。

青松園Bの三苦ホーネッツ対三苦フレンズ戦は、優勝を狙える両チームはホーネッツ川原投手とフレンズ山口投手の投手戦。互いに4安打同士だったが、守備面と走塁面とで勝敗が分かれた。ホーネッツは振り逃げの間に本塁突入で先制点を挙げれば、相手エラーでに付け込んで最終回に2点を挙げ全勝のフレンズを3-0の完封勝ち。フレンズは二回裏、唯一三塁までランナーを進めた一死満塁のチャンスを点に結びつけられなかったのが痛かった。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対三友クラブ戦は、一勝が欲しいブルーマーリンズが先制するも三友クラブがすぐさま逆転すると毎回得点の8点を奪い、最終回二死から満塁とするなど粘りを見せるブルーマーリンズを2-8で破り勝率を五割に戻した。三友クラブ四番山崎選手は3打数3安打2二塁打2打点の活躍。

青松園Aの奈多クラブ対三苦三球会戦は、二回表二死から不用意な初球を見事HRにした奈多クラブ住田選手、今林祐将、今林瑠生、そして角田選手の2本目のHRで計8点。投げては今林瑠生投手が被安打4、8奪三振の完封。8-0で奈多クラブが唯一全勝を守り10勝目。

甲子園は広島・広陵の中村奨成捕手が甲子園1大会のHRと打点、塁打数の新記録を叩き出したことで注目を浴びた。しかし優勝には一步届かず埼玉・花咲徳栄が初優勝。

決勝で大打者が破れるのは西東京・早稲田実業の清宮幸太郎内野手を見ているようだったが、早くU-18のWカップでこの二人がそろって出場するところを見たいですね。